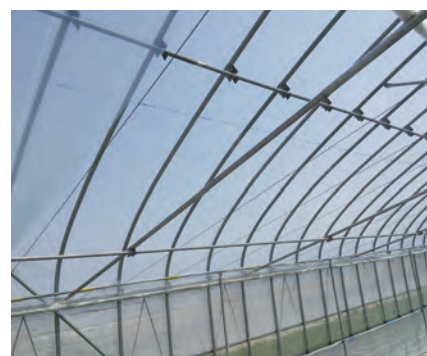


# クリンテートシリーズ「調光」の効果確認試験



JAながぬま

出口 安雄



慣行品



慣行品(影のできた)



試験品



試験品(影のできた)

#### 試験目的

「調光」の効果確認試験

#### 試験作物 及び品種

トマト

#### 試験資材 及び数量(規格)

調光(0.15mm×860cm×43m)

#### 慣行資材

カゲナシ5

#### 栽培方法

##### 定植日

慣行区:5月5日  
試験区:5月5日

#### 資材使用期間

4月~11月

#### 試験区面積

370㎡

#### 試験結果

- (1)作業性について(慣行品との比較)  
重量があるため展張作業が大変だった。
- (2)作物の生育状況または、収穫への影響  
焼けは少なかったように感じたが、収量については差が出なかった。
- (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について  
【優位点】: 差は特になかった。
- (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について  
1年目の使用では差は感じなかった。
- (5)促成・抑制効果について  
慣行品との差は見られなかった。
- (6)保温効果について  
慣行品との差は見られなかった。

#### モニター感想

慣行品については通常3年程度を目安に使用している。  
その際、遮光ネットは使用していないが、「調光」も同じように管理を行った。  
葉焼けは少ないように感じたが、収量に大きな差が出たようには見られなかった。  
「調光」は高価な資材であるので、耐久性が価格に見合うものであるかを今後長期的に見ていく必要があるように感じた。

#### JA担当者の感想(営農資材課 小西 氏)

当地区においては0.1mmの厚みのフィルムがメインであるため0.15mmのフィルムは展張作業が大変であるという印象を受けた。  
また、慣行品との効果の違いが出ることを期待していたが、目に見える差は確認できなかった。  
今後は2年目以降の物性並びに、慣行品との耐久性の差について継続して確認を行っていきたい。

#### 今後の使用について

改良して欲しい。  
0.1mmの厚みの「調光」があればよい。

1 高温対策

2 害虫忌避効果

3 調光フィルム

4 クリンテート

5 機能性マルチ

6 育苗資材

7 不織布

8 その他